

科目名 (英語表記)	倫理学(Ethics)						ポートフォリオ
学年・専攻	1年・全専攻		単位・期間	学修単位 2単位・後期 週2時間 (自己学習時間60時間)			<学生が記入する上での注意事項>
担当教員	関 幹雄	連絡先	管理棟2階・関研究室	オフィスパワー	水曜日 午後4時30分～		【授業計画の説明】 枠内に○か×かを記入すること。
【授業目的】 様々な問題に対する多様なアプローチを学び、自己と社会との関わりについて考察する。 1.倫理(学)についての基礎的な事象を理解する。 2.西洋の先人の考え方を読み取り、自己を見つめなおす契機とする。 3.地域の先人の生き方を、時代背景に留意しつつ考察する。				【理解の度合】(記入例)ファラデーの法則、交流の発生についてはほぼ理解できたが、渦電流についてはあまり理解できなかった。			
【履修上の注意】 1. 課題の提出期限を守ること。 2.本講義は、資料の読解を重視する。原資料に立ち向かい、自分なりの考察を加えてほしい。 3.各思想家についての概説や分からない語彙・事項については、自発的に情報収集をすること。				【試験の結果】定期試験の点数を記入し、試験全体の総評をしてください。(記入例)ファラデーの法則に関する基礎問題はできたが、応用問題が解けず、理解不足だった。			
【事前に行う準備学習や自己学習】 この講義は学修単位であるため、事前・事後学習として課題を課す。次の「1.」「2.」は「課題」として評価する。 1.事前学習:「自己学習資料」を通読し、考察したことをA41枚程度の「読書メモ」に表現して提出すること。 2. 事後学習:講義内容に関する記述・調査課題を課す場合がある。分かりやすい文書でまとめて提出すること。				【総合達成度】では、【達成目標】どおりに目標を達成することができたかどうか、記入してください。			
【達成目標】 1. 倫理学で問題とされてきた様々なテーマについて、具体的な例をふまえて理解することができる。 2. 東西の先人の考え方を読み取り、自分の言葉で説明することができる。 3. 先人および自分自身の考え方に対して、批判的に考察することができる。				ルーブリック評価の【自己評価】では、到達したレベルに○をすること。			
学 習 到 達 目 標							
ルーブリック評価	理想的な到達レベルの目安 (A)	標準的な到達レベルの目安 (B)	未到達レベルの目安 (C)	ルーブリック評価とは設定された到達目標の合否および到達レベル(到達度の程度)を示す基準です。			
評価到達目標項目1	講義で扱った様々な思想について、具体的な例を交えながら自分なりの言葉で説明することができる。	講義で扱った様々な思想について、説明することができる。	講義で扱った様々な思想について、少しは理解することができる。	【自己評価】 A ・ B ・ C			
評価到達目標項目2	先人の言葉・著作を批判的に読解し、多様な価値観についての考察を深めることができる。	先人の言葉・著作を読解し、多様な価値観に触れる重要性を意識することができる。	先人の言葉・著作の読解が不十分ではあるが、多様な価値観に触れる意識を多少は持つことができる。	【自己評価】 A ・ B ・ C			
評価到達目標項目3	講義で扱った様々なテーマ・問題を、自分の問題として理解・考察することができる。	講義で扱った様々なテーマ・問題を、自分の問題として理解する重要性を意識することができる。	講義で扱った様々なテーマ・問題を、自分の問題として理解する重要性を多少は意識することができる。	【自己評価】 A ・ B ・ C			
				【自己評価】 A ・ B ・ C			
到 達 度 評 価 (%)							
評価方法	課 題	小 テ ス ト	レ ポ ー ト	口 頭 発 表	成 果 品 実 技	そ の 他	合 計
指標と評価割合							
総合評価割合	40		60				100
知識の基本的な理解	10		20				30
思考・推論・創造への適応力	10		20				30
汎用的技能	10		10				20
態度・志向性(人間力)							
総合的な学習経験と創造的思考力	10		10				20
成績の評価方法について ・評価の割合は、自己学習の成果を測る「課題」40%、セッションごとの取り組みを測る「レポート」60%の割合で評価する。							
評価基準について ・各評価は、事前に提示する「条件」の達成率に応じて総合的に評価する。 ・60点以上を合格とする。							
【教科書】 授業内容により、その都度プリントを配布する。							
【参考資料】 授業中に提示する。その他、社会・文化・思想等についての著作から積極的に情報を収集すること。							
【学習・教育目標・サブ目標との対応】(低学年)				【JABEE基準との対応】 (a)			
【学習・教育到達目標との対応】(高学年・専攻科)				(C)			

【授業内容】			【授業計画の説明】(実施状況の記入)
授 業 要 目	内 容	時 間	
			【理解の度合】(◎教員は授業の実施状況を記入)
ガイダンス:倫理学とは	倫理学の概要と関連分野の説明	2	
西洋の先人と考える:「行動」	デカルトと近代思想	8	
西と東	東西の思考感覚の比較	3	
	東洋思想の理解の準備:儒学	4	
後期中間試験	セクション後レポートとして実施	1	【試験の結果】 試験の点数()
試験答案の返却及び解説	試験問題の解説及びポートフォリオの記入	1	
郷土の先人と考える:西郷隆盛	背景の理解	3	【理解の度合】(◎教員は授業の実施状況を記入)
	語録 『南洲翁遺訓』と向き合う	6	
学年末試験	セクション後レポートとして実施		【試験の結果】 試験の点数()
授業の総括・成績について	総括・ポートフォリオ記入	2	
	合計時間	30	【総合達成度】 総合評価の点数()
【備考】			【評価の実施状況】(◎教員は総合評価を出した後に記入する。)